県政報告 2019 秋号

竹尾 ともえ

あなたとともに、
人と地域が輝くまちへ！



兵庫県議会議員 西宮市選出 現１期／公明党・県民会議議員団所属



令和2年度、当初予算編成に対する重要政策提言を兵庫県公明党・県民会議議員団13名で井戸兵庫県知事、行政関係部局に提出致しました。

（令和元年9月2日）

防災など企画県民部や健康福祉部、産業労働、農政環境、県土整備、病院、教育委員会、警察本部など各部局に**29項目277の要望について重要政策として提出致しました。**

「最重点要望事項」3点についてご紹介いたします。

1 地域創生戦略の見直しと効果的な推進

地域創生戦略の見直しにあたり、特に人口増対策案において目標を達成できていない原因分析を徹底して行い、人口の自然増、社会増に結び付く施策の効果を適切なアウトカム指標で評価し、戦略や事業の実効性を高める先進な取り組みを市町と連携を図りながら強化すること。また、人口減少下において、より重要性之高い交流人口増対策では、特に外国人観光客を増やすため、現状の課題をデータ分析等により明確化し、兵庫らしさを活かした特色ある取り組みにより成果をあげること。

2 私立高校授業料の実質無償化の更なる拡充

本県では、これまで独自に私立高校の授業料への支援制度をを創設し支援してきた。国においては、令和2年度から年収590万円未満世帯の私立高校授業料の実質無償化が実現することとなっているが、本県が進めてきた支援をさらに拡充し、より多くの世帯が恩恵を受けれるような新たな支援制度を創設すること。

3 高齢ドライバーの安全運転支援装置設置の促進

高齢ドライバーによるアクセルとブレーキを踏み間違うことが大きな原因とされている死傷事故が発生していることから、踏み間違いを防止する安全運転支援装置を高齢ドライバーが購入する際の新たな支援制度を創設し、その設置普及を図ること。

令和元年10月実施！

（詳細は下に記載）

実現 令和元年度9月補正予算案で高齢者の交通事故防止対策として、事故防止装置の購入補助制度10月開始決定!! 238,000千円

高齢運転者のペダル踏み間違いによる死亡事故等の防止を図るため、国の対策が制度化されるまでの間の緊急対策として、踏み間違い事故防止装置を購入する経費に対する県単独補助制度創設されました。**我が会派の明年「予算要望最重要項目」が早期実現となりました。**

※右記対象装置と同等の機能を装備した新車・中古車を購入した場合も補助対象

- 対象者 75歳以上の高齢運転者
- 対象車両 本人常用の自家用車
  （1人1台まで・本人以外の名義車両も対象）
- 補助額 22千円（定額）
- 事業期間 令和2年度末までの2年間
- 受付開始時期 令和元年10月（予定）



※申請など詳しくは
県のホームページ掲載や
チラシなどが配布されます。

対象装置

急発進抑制タイプ

アクセルを急激に踏み込んだ場合にセンサーが異常検知し急発進を抑制するタイプ



障害物感知タイプ

一定範囲内の障害物を超音波センサーが感知し、アクセルの急激な踏み急発進抑制タイプ込みで加速抑制するタイプ



[兵庫県議会控室] 〒650-8567 神戸市中央区下山手5丁目10番1号　TEL（078）362-3727　FAX（078）371-1883
[自宅] 〒663-8224 西宮市今津真砂町1-13-1006　TEL・FAX（0798）40-3529　E-mail：tomoe5453@ab.auone-net.jp

第344回(令和1年6月) 定例県議会一般質問



第344回定例県議会で、6月19日に県議として初めて一般質問をさせていただきました。
質問では、喫緊の課題である待機児童対策や特別な支援を必要とする児童生徒への支援体制といった子育て支援のほか、食品ロスの削減、ホームドアの整備、さらに地元の県立西宮病院と市立中央病院の統合など県民生活と密接な諸課題について県の姿勢を伺いました。一部ご紹介申し上げます。

待機児童対策について

質問

待機児童対策」は本年10月から実施の「幼児教育・保育の無償化」と並ぶ車の両輪と捉え、両方ともに進めていくことが重要です。今後、県は待機児童対策にどのように取り組んでいくつもりか。

答弁 待機児童は1,569人残ってしまったが、4,657人の受け皿を拡大した。令和元年も約3,000人の受け皿拡大に取り組んでいく。そのためには、まずは、当然保育所等の整備。2番目としては、既存の保育所等の定員弾力化による受入支援を行っていく。3番目には、保護者の預かり保育のニーズに対応できるように、私立幼稚園における預かる保育への支援を拡大し、新たに企業主導型保育事業を促進するため、開設・運営に関する相談を強化のため開設支援窓口を設置することにした。また、空き定員を活用して、新たに地域の保育が必要な子どもを受け入れる事業者を支援する助成制度を創設している。このように、保育の受け皿拡大にしっかりとこれからも取り組む。

ホームドアの整備について

質問

本県でも転落事故防止のためJR三ノ宮駅などでホームドアの整備が進められている。しかし、西宮市では、ホームドアの計画も整備も何も進んでいない。1日あたりの平均利用者数が10万人以上ある西宮北口駅、そして、甲子園球場で試合観戦する方が一度に多く利用する阪神甲子園駅についてホームドア整備を伺う。

答弁 ご指摘の阪急西宮北口駅については、平成29年度末に乗降客数が10万以上となったことから県としても事業者に対し、ホームドア整備の実現に向けて働きかけていく。県としては、10万人未満の駅であっても転落事故の発生状況等を勘案し、10万人以上と同程度に優先的整備が必要な駅については支援の対象としている。乗降客数約5万人の阪神甲子園駅については、ホームドアの設置技術の進展を注視しつつ、駅の利用状況も踏まえ事業者と共に、設置に向けて検討していく。

食品ロス削減に向けた普及啓発の推進について

質問

公明党が主導してきた「食品ロス削減推進法成立」の趣旨に則り、一層の取組の強化が必要ではないか。

答弁 今年度は、7月にリニューアルオープンする消費生活総合センターに、消費者学習の拠点となる「消費生活情報プラザ」を新たに開設して、環境教育や食育等に取り組む団体にも活用いただき、食品ロスの削減に向けた参画と協働による一層の取組を推進していく。
本県では、これまでから30・10運動やフードバンク活動の推進に取り組んできた。加えて、今回の食品ロス削減推進法の制定を契機に事業者への働きかけを強化するとともに、消費者団体や生活協同組合等と連携して、より多くの県民において、食品ロスの削減に対する意識が一層高まるよう推進していく。

県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編について



質問

救急医療の充実について、医師の確保や救命救急センターの整備など、また、ドクターヘリの設置、心臓血管外科等の不足している診療機能の充実に加え、がん対策の推進、女性専用外来の設置や産科・小児科の医療体制の整備、宿泊型の産後ケア事業の導入など、誰もが安心して利用できる病院になること。②阪神国道駅などの病院周辺環境の整備、救急搬送経路の確保や通院される方のための南北道路交通網の整備の早期着手について伺う。

答弁 ①不足する診療科の充実による救急医療体制の強化、産科・小児科の診療機能充実、ヘリポートや免震構造等の災害に強い施設整備など、あり方検討委員会からも報告を受けている。今年度は統合再編基本計画を策定するが、これらの課題に対応するため、関連大学とも十分調整を図りながら新病院の診療機能充実に努める。その中で、がん医療をはじめとする高度専門医療を提供する県立病院にふさわしい機能を備えつつ、女性の視点をも大切にした病院整備にも意を用いていく。
②阪神国道駅からのアクセス等の周辺整備についても西宮市と連携し関係機関とも十分協議し検討していく。今後も県民の理解を深めながら圏域における中核的な医療機関としての新病院整備を早期に進めたい。

我が会派の要望が実現！

令和元年度予算主要事業抜粋

緊急自然災害防止対策事業 120億円
昨年の台風21号による被害などを受け、高潮対策や土砂災害対策を県単独で実施。

放課後児童クラブ開所時間延長支援事業 14,265千円
「小1の壁」を解消するため、19:30まで延長するなどした事業所に対して補助。

第1子保育料軽減事業 63,210千円
これまで第2子以上の子どもに対し実施していた保育料軽減事業を第1子まで拡充。

骨髄移植後の予防接種の再接種に対する助成事業 1,367千円
小児がんでの骨髄移植等で予防接種で得た免疫を消失した人が再接種行う費用助成。

(その他、＊家族の認知症早期発見、受診促進事業　＊医療支援型グループホームの整備促進事業
＊強度高度障害の地域生活支援制度の構築　等)

竹尾ともえ プロフィール



現在
兵庫県議会 健康福祉常任委員会委員
マリーン今津浜自治会役員

職歴
私立苦楽園口幼稚園
西宮市立高須西幼稚園
西宮市立小松幼稚園
西宮市議会議員(2期)

家族:夫一男一女
好きな言葉:感謝

経歴
西宮市議会 厚生常任委員会委員長(平成26年度)
西宮市議会 総務常任委員会委員長(平成29年度)

資格
幼稚園教諭2級普通免許
防災士
ユニバーサルマナー検定2級